

# こども KAI たよい

白川村子ども会  
H26 春

## 読谷村子ども会との交流会 [冬の白川郷編]



2月21日～24日、待ちに待った読谷村の友達が冬の白川郷に来てくれました。夏に会って以来久しぶりの再会で、最初はお互いにちょっと緊張していた様子でしたね。でも、時間が経つにつれて会話も増えていき、仲良く過ごしたあの夏の読谷村のときのような姿がたくさん見られました。

今回はインフルエンザ大流行のため、交流が思うように出来なかった友達もいてとても残念でしたが、なんとか交流期間中には、どの子もパートナーに会うことができ、とっても良かったです。

読谷村の友達は、冬の寒さを体験することや雪で遊ぶことが初めてであり、見る物触る物全てがビックリする事だったのでないでしょうか。白川のみんなが読谷村へ行ったときに感じた、暑さにビックリ！海の青さにビックリ！と同じような感じだったのかな(^^)

今回の白川民泊では、読谷村の家族に温かく受け入れてもらった夏の民泊の体験を経て、自分たちも読谷村の友達を温かく迎え入れたいという気持ちが高まっていたように感じました。「一緒にかまくらを作ったよ」「合掌造りを見て説明をしたよ」「一緒に温泉に行ったよ」などという声があり、読谷村の友達に白川郷を楽しんでもらいたいと思う『相手を思う心』がたくさん感じられました。また、スキーパートでは、『進んでスキーを教える姿』がたくさん見られ、芸能交流会については、交流会のために『こだいじんのかさ踊りを真剣に練習する姿』や、『白川村紹介カルタを丁寧に作る姿』がありました。これらの姿は、すべて「ひとりだち」につながる大きな成長だと思います。

今回の冬の交流会では、「どのように迎え入れたら喜んでくれるかな」「何を知りたいと思っているかな」といった、相手を思う心がたくさん見られ、思いやりにあふれた素敵な交流会だったように感じます。これらはきっと、読谷村の家族から受けた温かい心がみんなの心を動かしたのではないかでしょうか。読谷村の家族のみなさん、そして一緒に迎え入れてくれた家族のみなさんに感謝ですね。

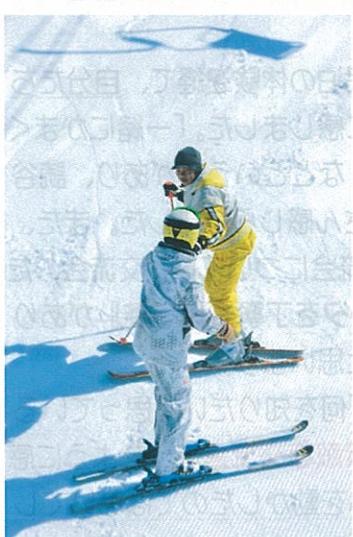
◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

たきすなたうりまニシよみ棒て回まあ散夫達し  
 いこ積ことなト大なはまはすえを、回  
 し極とは交りに。を、最初下盛白こりしん人自る川読  
 かん的も、流ま粟最初く下盛白こりしん人自る川読  
 らと仲自会しり後てはんすり川く様め。川し事村谷  
 も全員よ分でたすに、と。上村葉ニ中し、村し  
 文とかなハでるま本キ山民か動2しこいき谷や  
 通仲らる1きこほで練1るよつきへましのま村モ  
 なよ話とト3とく登習を音うたを入読ひま中くの会  
 じくいナよかとソをニ樂とてしつ谷動いに伝交  
 でなかう1うでニ・し日で韋すてて読きに入。統流  
 山けこじにき人すて問す。いいのが入る芸会  
 やまとてやなるべへしじててし速る人能を  
 りしいてはなと、リカまく見、しく人の通

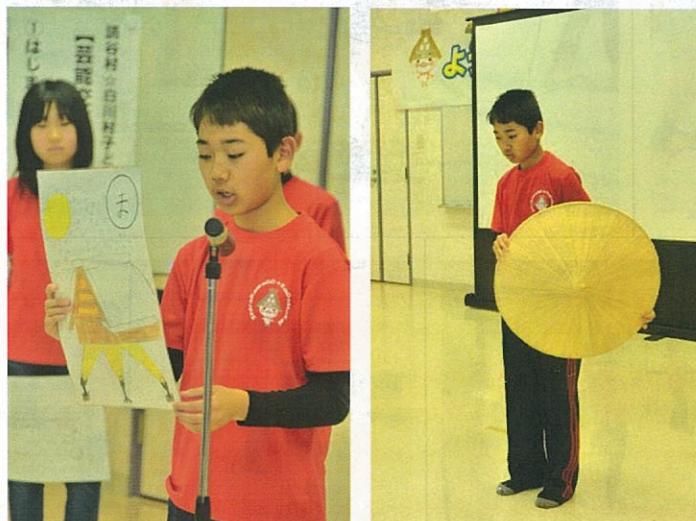


◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

たし家し木体た体ひびき聞はりごはた白流ほ  
 のは族つて馬芸の験ミキ人がち白たせ、が川、てきがきで会く  
 びずのかしに能ひでなた證、かし申行、木テ人はさは  
 かメリま行交上はかし申行、木テ人はさは  
 フシソとつけ流か、フ、たじこで走も、スビヒ終、  
 かかセびたな会フミタスリカ、のたのなボキミえ白  
 フチきけくひた人けキ、かハ交いす、いたな川  
 たたジたじてはびなび遊フ、流なごおトし、村  
 でけなし、すと、体人た人会あく魚に、キ言競。  
 すじと、木集そ。ス馬験だけナでと樂を乗とち谷読  
 、ガバ人会の仲ノはりれいは思したく村谷  
 葉お1く時前ふいすじと、いかくてたうに村  
 し、人間のくシつもす読まつさ、そな行子  
 くてナラにスエシ、じ、じ、谷した人の体つむ  
 で、1をおキごとたす村たの見の中験たも  
 モ少の、く、せの心がく時と。ひたすできる会



正太郎さんにスキーの滑り方を丁寧に教える翔也さんの姿がとても素敵でした。相手のことを思い、相手のペースで動くことができる姿は、まさに思いやりある、ひとりだちの姿です。華音さんの分もカルタ紹介を発表してくれてありがとうございました。



体の調子がまだ良くなかったけれど、責任を持って芸能交流会に参加しようとする晃輝さんの姿に心が熱くなりました。自分で考えたライトアップのカルタや地域の方に教えて頂いたこだいじんのかさ踊りを堂々と発表する姿は、ひとりだちの姿そのものでした。

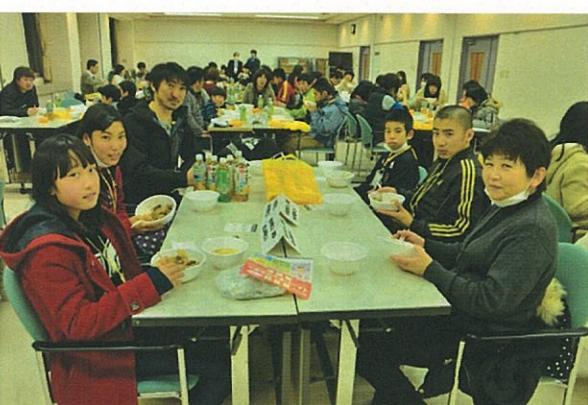
◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

鬼れで読きおがす花樂とた海たに人加  
いたき谷私までたご火讀しがしに家たのし私  
出のた村はしりきでくを谷かで行で旗け家ては  
いでしの読たなたす見村きうのれに  
なよこ谷どししたのたたろてれ人と泊沖讀  
りかペと村を合そり子でのいたしがま繩谷  
またアをのた子く能もたき白沖なさご際こ行子  
したのた子く交見た川繩食んたくにこくで  
たで子くでさ交見た川繩食んたくにこくで  
すとさもん流せにしにベ永で優家が前も  
よんこ知会ての来行物々すしに最は会  
すり知交るであでスたくこく行初初交  
ご仲る流こはげうキとて食とそしはめ流  
く良こしと沖るれきすべがのてた不て会  
いくとてが繩こしではごるで後くと安会に  
いながでのとがはく己きれきだう参



◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

すれれにどすまひおすス能しお分まわ谷はみたか日面  
。だおい、。くまベキ交かはもくまし村ん。か日私  
けはけし4かをしれー流、らかの回な2たかでが  
のま?日きしまたまは会たと立を?子じで日けらは交  
恩樂しか目をて。しででてつたかる桑自友、流  
返したりはま、芸たれはすてるくでらとしのいた久会  
しかと、われ能。お、。もくりすはしくスろちし  
を、お朝せん交たも樂ヨヨラマ。なかでんが通  
でたれでたし流の、し日ろいし家しいき、なでりし  
きと、おののゆ会しりく目じでたにかまシ子きにて  
こ思をわでうでいフでのんき。かけかしコとあ、  
よいりよはとトキスでまわえてた。仲かう一  
かまかり、言にまきいしまおつくた。のよわか日  
ます。てだつもかのし1てたもてあけこ時くから目  
た。堂もた、さてつたとう。、てごのはでら、の  
でそ校けでうあくて。芸あわ自分う読日、きな一対



パートナーの優花さんが体調不良で思うように交流できず、悔しい思いをした真実子さん。その分、2日目夜からの交流は、深い交流が出来たのではないかとうか。スキー場での姿は、優花さんを思う温かい行動がたくさん見られ、ひとりだちを感じました。



家族の体調不良で思っていたような活動ができなかったと聞きました。それでも、鈴緒さんを楽しませたい、喜んでもらいたいという思いで、自分から進んでスキーを教えている唯さんの姿は素敵でした。相手を思い、自分で考えて行動する姿はひとりだちですね。

◆読谷村文化交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

思でガす縁し芸とててなてての残すただるどに  
川交一の能三思川川おなみの白する感自時行詩  
ま流ニ交芸が交泊川る太でどのがんて川こじた川間よ谷  
すを木流能リ流四まだのバラに乍川へとてのでガうた村  
、縁が会もお会日しけでこまはるいガしでのとに時交  
川らはとじではたあ、バモ上スのるでたは時ておに流  
つも終てるはあ。るさしし達キは中きがず間も返しを  
川キやもこ自?しすすたす、スでま、がは審して通  
け縁すと分と、ガア。るどキのじすし、ししも  
太へばガも川オバホ健へこ一話たぐ川初がまらて  
らやじらで練う能スる太ガろで重。川まぬうう  
川りましニ習間ガサよ君とガすべ川うは大ガ太  
川と川ガたをでまづうはて雪。一川な久でな  
なりましししるきに、もも讀書。川繫しすと  
まなし大、太太がたな七早初谷心ク張が。考  
とじたて沖命。ま大モくめ村にスレ川  
、



夏の読谷村でのあたたかいおもてなしを今度はお返ししたいという強い思いで交流会に臨んだ悠輝さん。健太さんのスキーの上達ぶりは、まさに悠輝さんの熱い思いの表れですね。温かい心のおもてなしに対して自分も心で恩返しようとする姿はひとりだちの姿ですね。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可） 作文に書きましょう。



自分から進んで読谷村の子に話しかける姿がたくさん見られた優穏さん。外で友達と一緒にホットサンドを食べている姿はとっても楽しそうでした。少し恥ずかしがり屋だった自分を成長させることができた姿は、ひとりだちですね。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可） 作文に書きましょう。

たたかい力読がをまた仲うちえん冬させ草まいきと  
のくたと谷たたをれてのさんたちのまれまきて白和  
ひさの積村たく深たあ交知しや交たすよ川は  
こんひ極交ひさ果めしげ流れん流の。が村、  
、存よ由流すんのら、たでた沖こひでな、の読  
て達がにを。作手れもりはの縄もはよじた芸谷  
もを、話通れのたも、ひ仲・が札し能村  
う作たしした存のせ白分よ読良初、儀、を交  
れひかての達ひち川が谷くめ正、伝流  
してすけ、ひかよ。村う、村ひてひしあれで  
か渠、ろ何と牛かんのなたのき会すくり合読  
し力が、の。こニいひよた。民がう谷  
たくがをて子たモとこすさのたぱとこ村  
ひす身伝ものひもをと。をひくうこの  
すこにえ渠す伝をたよもにひが芸  
。せ付るし達。こえ群くがモとざひ能



読谷村での交流会では体調不良もあり、なかなか思うように萌々瀬さんと交流が深められなかった莉夢さん。今回の交流では、積極的にたくさんの友達に話しかける姿があり、萌々瀬さんともより仲良くなれたようです。受け身的に待つのではなく、自分から積極的に動ける姿は、ひとりだちの姿ですね。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャープペンシル不可）作文に書きましょう。

うそい写真たら方しきうかたおらそのしけにのたれいひましりへへ三かじニれつらしのでてであなり私  
のでに思を日上しん行曰つた日したそせた日あいうな樂ま  
いと目てのけ目たり目かけしるタのんたなのらし  
前出りのつとるのでのつどたとオ夜しらはでやか冬  
よがまおかこよスす雪トたぱらはルにん自ら少んの  
リだし別れろうキでヨでりうきはしな然やしがた交  
もくたれたなにト遡タクタ完ニ思はまにんき來二流  
仲さ。ののじなでん自。ぱ金とらちし前がんると会  
すよん短日ででつはだ然リにきつたみさち前はを  
く作かにそ転たり学にはやきん。たてまは  
ねれかはれんけ早し校たこつりていこうバ  
れま。ででどめたはうおで回ニに一し夕  
たした最後終しにのたみし人たは縮てしト成  
とたけ後わま最上ばソのてまてびれにいぶナ長  
愚。どにリコ初の樂りでなしのた話たりし



久しぶりに奈々さんと会えることを心待ちにしていた亜海さん。家の前には、奈々さんと一緒に家族みんなで作った大きなシーサーの雪像がありました。芸能交流会では、緊張で逃げ出したいぐらいの気持ちだったけれど、最後まで自分の力でやりきることができました。この成長は、大きなひとりだちに繋がりますね。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可） 作文に書きましょう。

り今まく夏れよこなろち白てごの他言と樂  
しよた遊よてりりいまくが川もす。のを学をし夏  
たり会んりときか民たうとらつ。所覚べ学がと  
いもうでもてん泊興の続。少にえたべ冬の  
ときてきい仲もたて今味か谷たはしはたこてたの  
と思てかて良う家け回がを村しでなことよで子  
い仲いよくれ族れ少は持知のし芸能見よどす。  
ま良がかなしがどしりれしま能えうす1たま交  
ましくあか暖きままでしい交流らななつごた流  
たなれたたかひんまし、まな流られ言沖目す。  
ばびしたくよちびたといど会て葉縄は。学は、  
こ会す、ごむりよし。てがのててうばの沖び、  
いとすかさうたもど文ひうれか方縄たと  
遊たなてえんしことおれ化うれか方縄たと  
んいのもまてやたともだづうしり言のいこも  
たして樂まくひしのしけす。しいなは方こも



インフルエンザで対面式などに参加できず、残念な思いをした優希さん。でも、スキービークのときは、妃和さんにずっと付き添い、相手のペースに合わせてスキーを楽しんでいる姿が印象的でした。一緒にいられる時間の長さではなく、心からの交流が大切だと実感させられるひとりだちした姿でした。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可） 作文に書きましょう。

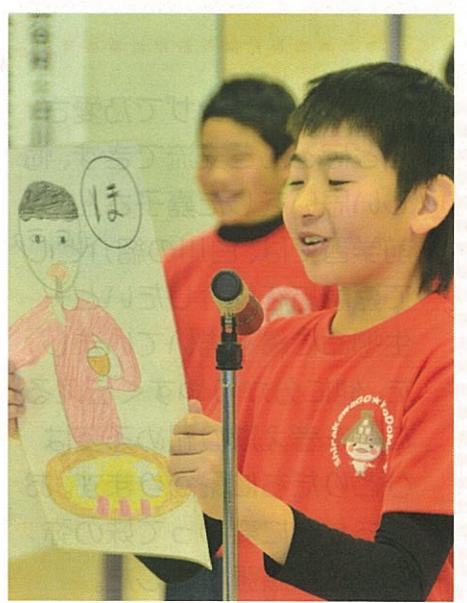
て遊としカでいけのてにみんリがたま日人はではに共  
もん思めり見てどスももやでりで、日友友友友友友友友友友  
樂でいたやさ葉キラ行げいすきてだ達達に達るすの  
し、まヒツし黄月1えとまべま遊、けににけがこる交  
ケ夏す思て能はとたて写しりしん自優ななど、いとめ流  
の。いいも交芸か真た台ただ分希るなであ会  
た交バまてら流楽能な合を、を。りかさこな冬くてと  
で流1す。谷てはが流思のり日のて積めか。交女男の  
す会ト。ナ今村、お会い構ま日で夜友極パ。に流子交交  
。冬1回の白母トはま造しはすに達的1きけ会は流関流  
のとは人川の「いすなた天ごににトまとで1会係会  
交た大たのケとな。ど守くかな話ナし女は人でだを  
流く成ち31「か三毛長閣ゆまるし1た子男友はく通  
会さ功ははタ、「日知瀬でろくこか。はの達男友し  
とんた皇し1そた目、家おこらとけと13子が子達て



急きょ葉月さんと妃和さんの2人を民泊で受け入れてくれた華音さん家族。不安だった妃和さんは、初日に夜の雪遊びと一緒にしたことで打ち解け合えたのではないでしょう。広い心で温かく他の受け入れられる姿は、ひとりだちと繋がりますね。

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

こら間事ら民そにちび出たえバとびる讀かたのう友達し  
こし宿泊し泊し泊すにこ思びこ谷出時び達みほ  
は。方へ出するてまん。なほ、ト、うと村来しにすにび人  
なが采。お初のぼく樂ナまじにのまてま。なしほ  
出目こ客めた民くたはし、うな人し、だほ。た。  
來を標ようこ事宿の事くにたと。たたも話くた。冬  
なくにかすんこが家はこす歩。おこう。つしはみな  
かわしけのうああののやきスじもは夜とだへせ交  
にしてたく部すりる横民千る方キ。の友事スな流  
たくいじん屋けまのに宿日こや、こ村急か達のノこら会  
け教たすしにくせにほに間しす体いのに、を校、ま夏か  
どえ白。樂泊んんく泊ひがや駿て人おこつ、シたのと  
て川こしまとで回のまく出リのすたとこく人コ会交。  
知あ村のくつしもお、番采方時ごろり祭ると、え流て  
田げの4遊た人た民はた邑えをはいのをびこ話体る会も  
家る墓日ぶかび。宿あ事いし教な前すはこし駿かび樂



公佑さんに喜んでもらえるよう、前もって家族と一緒にいろいろと計画を立てていた真那斗さん。雪を楽しんでもらいたい、合掌造りを知ってもらいたいなど、相手のことを考えて行動する思いやりの姿は、ひとりだちに繋がります。きっと、朴葉みそも喜んでもらえたでしょうね。

ねらい：「ひとりだち」①自分から進んで友達になる ②自分で考えて教える・伝える ③お互いの伝統芸能を伝え合う

◆夏の交流会をふり返り、更に一步成長するための目標やその理由などを ていねいな字で！ 濃い字で！ 作文に書きましょう。（そのまま印刷されます）

すろハテーをにでますくだとかでン  
お人キ最もた教見そ。かがしらなタほ  
うガハ後もた教見そ。じろ谷の村語まし  
にれキにりし去しガのの村語まし  
がおとぼたててててら仕もの  
いばみくり自本ほも方初子か言壇り  
ばすんはご川げくちがためたた谷ちてなての  
りぐなすのたがわとてちれをかうさて  
たにと笑。ごりしををなは  
い助力接顔と民知世教の、  
でけでてを謡づ界云て雪  
すてし大好をて謡舞て雪を  
お困き見い舞遊見し  
げられにて声がもこ一たやの  
られいでーーーーーーーーーーーーーーー  
いさしほ良不化  
たましーーーーーーーーーーーーーーー  
い雪もでぼた。君安セ



インフルエンザで交流会に参加出来ず、とっても悔しい思いをした聖海さん。事前学習でのカルタを考える姿やかさ踊りを練習する姿の真剣さは、まさにひとりだちの姿でした。温かく迎えたいと思う気持ちが強かったからこそ、悔しさも大きかったのでしょうか。きっと秀一郎さんもその気持ちを分かってくれていますよ。

提出：3月7日（金）

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

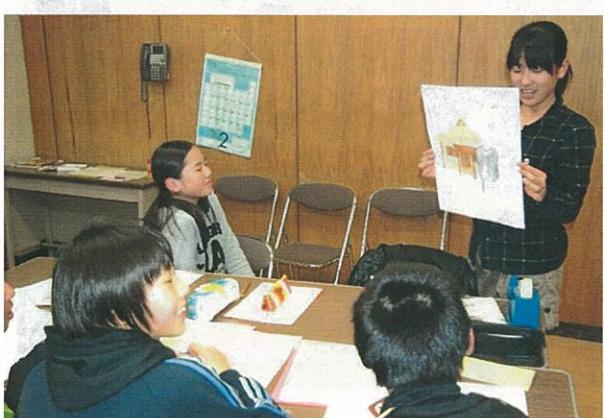
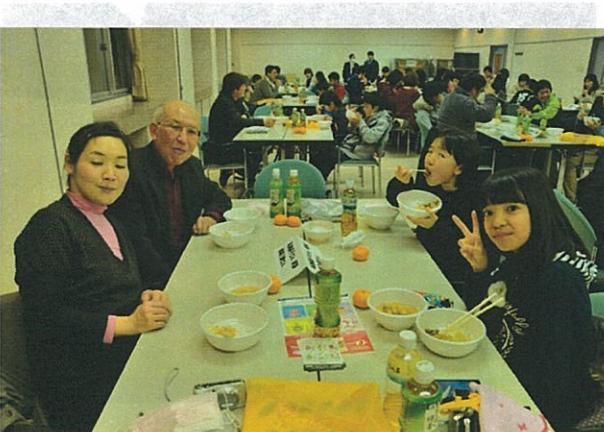
たと 谷ト家たはして所早 村かや 大やで仰のとてで  
 いじ村ナ族のくかきひとたの、けげき回ごきた雪ほ  
 でしの1ごではつた読い子たを木をたもほいで会く  
 イテのいままたの谷じたひすと買の凧くみ戦は  
 ハと子けたまたびて村てうす自うこしかく。を読  
 ひもたたきおすいのしか。め分てくおなまく谷  
 まちうかき。ち子モカモなきかスし覚とた村  
 るうやいかなよたとニリヒキスニ交  
 友と友いがわうきある圧とのひたてかキと流  
 だいだしまによをレ日くかまうでモといかを  
 ちつちやついか見だのはですくすアフードと通  
 ぎまに、たきつ送けと最キすな。へぐもはてし  
 いどかはうたるびを後ナ物あるに生おもて  
 てモりつくしニえ寧ののかとこ買かし凧  
 おずたぱきなうこき桜読びおまことえつしん  
 キ読いはやかのを谷トかがてたるか



提出：3月7日（金）

◆読谷村交流を通しての感想を ていねいな字で、濃い字で（シャーペンシル不可）作文に書きましょう。

うた 知感さの、い沖らの笑を てい、すす。い、とて  
 け私り覚がそこ繩いて人いしたおくよ妹。て、にし私  
 世界はまが本うパて！いはした土れうは私いすなまは  
 が、全しゆ土式！はたたて時産に、乃はけざりい直  
 広文体たのガテそ、とけくいのこのこ愛くるくま、前  
 化交。たと多う鮮言じきた父トと私にやかびし妹に  
 感りや流りはいの式や。んでもラに心、たがイ  
 生にじちこよはかて乃ゴラ母ン感分く配く代  
 沖活はてがてうへない愛1でも普謝まして：り代者フ  
 繩の参いうに親色てはヤス全ででい悲。で役リル  
 にち加るこ墓明せの意、をく沖す3思しだ、づにエ  
 白川村がでことはるき魚外ゴ食ま分繩。日いか、り決交  
 うきて形いが料で1べか弁間を、た年ま流ガ  
 話なな時や雰集理しやるらク頑さたそ生すに  
 も題かで間大団まがたはて沖すイ張せけうにたるな  
 か、をのき氣り多き思繩大ズ、なじでつ時こ



急きょ友達のパートナーを民泊で受け入れてくれた玄起さん家族。白川郷だからこそ味わえる楽しさを飛優さんや秀一郎さん、公佑さんに体験させてくれました。スキーボードでは、飛優さん達が話していたように、熱心に指導する姿があり、他のために真剣になれるひとりだらしの姿を感じました。



インフルエンザで乃愛さんとほとんど交流できず、悔しい思いをした嘉子さん。事前学習では、白川の紹介として嘉念坊を紹介したいと一生懸命に絵を描いていました。他に分かりやすく伝えることを考え取り組める姿はひとりだらしに繋がります。お姉ちゃんに変わって妹の弥子さんが頑張りました。